



色鮮やかな花束を胸に、選挙後初めて市役所に登庁する光武顕第27代佐世保市長

広報  
No.631

# させぼ



広報させぼ 編集長  
「キューちゃん」

## 特集 ハウステンボスへ 広がる支援の輪

2 ~ 5 p

### 今月の主な内容

市長インタビュー、市町村合併など	6 ~ 9 p
市民の広場	10 ~ 11 p
イベント、施設だより	12 ~ 13 p
歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド	22 ~ 23 p
九じろうの取材日記	24 p



PUBLIC RELATIONS SASEBO



林 偉文(リン・ウェイ・ウエン)さん  
国立華僑大学で日本語学を専攻。廈門市外事弁公室で、国際関連業務に携わる。国際交流員として、1年間佐世保市に滞在予定。現在は、妻と6歳になるお子さんを中国に残し単身赴任中。  
中国福建省・廈門市生まれ(32歳)

## 九じろうの取材日記

佐世保市国際交流員  
林 偉文 さん

ことし4月14日付で、友好都市の廈門市から、本市7人目の国際交流員として着任した林偉文さんをご紹介します。

「佐世保は静かで、とてもきれいな街」  
過去10回以上の来日経験がある林さん。廈門市の外事弁公室に勤務中は、東京、大阪、京都などの大都市をはじめ、新潟、福井、静岡、沖縄など、交流のために数多くの都市を訪れています。  
佐世保を訪れるのは7回目という林さんに、佐世保の印象を尋ねると、「静かでもきれいな街。来るたびに、ますますその思いを深くしています。四ヶ町は人通りが多く、とてもにぎやかなところですね。よく行ったり来たりします」と、丁寧な日本語が返ってきました。



辞令交付式で光武市長と握手する林さん

友好都市締結20周年  
本市との友好都市締結20周年を迎える廈門市は、人口約百九十七万人。近年は、多国籍企業の誘致が盛んで、コロン島の観光などでも有名な街です。  
「廈門は、中国の中でも環境に恵まれた都市です。景色がきれいで、海鮮料理は特においしく、あっさり味で日本人の口にもよく合います。一度ぜひ来てくださ」と、笑顔でアピール。  
ことしの冬は...  
来日経験の豊富な林さんですが、実は、まだ見たことがないものがあるとか。  
「廈門は、年平均気温が24度と、とても暖かいところです。私は、

まだ一度も雪を見たことがありません。ことしの冬は、福井、金沢などの日本海側や北海道にも行ってみたいですね」  
いつでも声を掛けてください  
林さんは、市役所文化交流講座に席を置き、翻訳や通訳、中国語講座の講師を務めるなど、幅広く国際交流の仕事に当たります。  
「これまでの12年間の国際交流の経験を生かして、両市の友好関係と、より一層の発展のために、力を尽くしていきたい。また、廈門だけではなく、佐世保と中国の交流面に役立つよう頑張ります。お役に立てることがあれば、いつでも声を掛けてください」と、力強く抱負を語ってくれました。

### 編集長から「一言」

ハウステンボスの取材中、若いカップルに写真撮影を頼まれました。普段から撮り慣れているはずのカメラなのに、他人のカメラだと不安になって、「押すのはここですか、押すだけでいいですか」と思わず聞いてしまいました。まだまだ、修行が足りません。(K)



広報 させぼ

6月1日発行

※「広報させぼ」は再生紙を使用しています。

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL 0956-24-1111 FAX 25-2184  
〒857-8585(市役所専用)長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/中央印刷有限会社